

令和3年度 長崎市立長崎中学校 平和宣言文

1945年8月9日 午前11時2分

76年前の今日、この長崎の街は一発の原子爆弾により廃墟と化し、多くの尊い命が犠牲のなり、被爆者は何もかも奪われてしまいました。

今の日本、そして長崎は平和で安心して暮らせる街です。しかし、被爆者の方々は、76年間、様々な困難に苦しめられてきました。今もなお、後遺症と闘い、心にも、一生癒えることのない大きな傷を負っています。

被爆者の高齢化が進む中、私たちが、被爆者の声に耳を傾け、平和学習を通して身につけた知識、被爆者の思いを、受け継いでいかななくてはなりません。

戦後76年を迎えた現代において、大人だけでなく、多くの中学生がインターネットやSNSを利用しています。その中で、過去の戦争や悲劇的な歴史について、「戦争があったから今の平和がある」など戦争に対して肯定的な考えを示すケースが目立ってきたり、真偽不明の投稿に大量の「いいね」が付いていたりすることがあります。このような意識の変容に対し、専門家は、「戦後培ってきた平和への意識が局所的に崩れてきた」と述べています。

一方で、今年1月22日、核兵器の使用や保有など幅広い活動を違法化する「核兵器禁止条約」が発効されました。しかし、非加盟国には効力が及ばず、核兵器保有国や、日本を含めた核抑止力に頼る国の加盟も見通せないため、実効性が疑問視されています。条約を推進してきたNGOなどは「核兵器は違法」という認識を世界に広め、核廃絶に向けて核保有国の具体的な行動を働きかけていくそうです。

このことをきっかけに、世界が非核化に向け、核兵器のない平和な世界へ進んでいくことを願います。

今、私たちが平和な世界を作るためにできることを考えてみてください。

学校生活の中で、友達に暴力をふるったり、無視したり、暴言を吐いたりしていませんか。自分は軽い気持ちで、悪気がなくても、相手を深く傷つけていることがあります。まずは、よく考えて発言、行動をし、学校の中から、平和を築いていくことが大切です。

私たち長崎中学校生徒一同は、悲惨な戦争を2度と繰り返さないために、次の3つのことをここに宣言します。

- 一、戦争や原爆について、より一層の理解を深めます。
- 一、身につけた知識、被爆者の思いを次の世代へと語り継ぎます。
- 一、人を思いやることのできる優しい心を持って、学校生活を送ります。

私たちは、すべてを奪っていった戦争を絶対に許しません。
世界中の人々の明るい未来のために今ここに立ち上がることを誓います。

令和3年8月9日
長崎市立長崎中学校 生徒一同